



AET2
Asian and Middle Eastern Studies Tripos, Part II

Wednesday 8 June 2022 13.30-16.30

Paper J11

Modern Japanese 3

Answer **all** questions.

Write your number **not** your name on the cover sheet of **each** answer booklet.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

1. Translate the following **unseen** passage into **Japanese** (*kanji* and *kana*): **[30 marks]**

Linguists and philosophers have traditionally identified the primary purposes of language as one or both of the following:

- *Communication* with others, it being impossible for human beings to live in isolation;
- *Representation* of the world to ourselves in our own minds – learning to categorise things using the words our language provides us with.

Another function of language that has been traditionally recognized in Western culture is that of *expression*, where what is expressed are the feelings, emotions and passions, usually of an individual, sometimes of an entire ethnicity or gender or other grouping.

.....

...any study of language needs to take consideration of identity if it is to be full and rich and meaningful, because identity is itself at the very heart of what language is about, how it operates, why and how it came into existence and evolved as it did, how it is learned and how it is used, every day, by every user, every time it is used.

It is because speakers and writers inherently know this that both the form and content of linguistic production are shaped, and frequently driven, by the imperatives of identity. The very identities of the languages we use have been shaped in this way. Comprehension and interpretation too are shaped and frequently driven by the perception of identity.

JOHN E. JOSEPH, *Language and Identity*, Palgrave Macmillan, 2004, pp15-16

2. Read the following **unseen** text and answer the accompanying questions in **Japanese**: [35 marks]

男らしさに価値、「速く高く強く」 東京五輪でジェンダー平等の実現は遠い

①東京五輪は「多様性と調和」を理念に掲げ、参加する女子選手の数は史上最多となる。しかし、五輪のモットーが真のジェンダー平等実現の障害になっている。

②日本選手団主将で陸上男子の^{やまがたりょうた}山縣亮太(29)と副主将で卓球女子の^{いしかわかすみ}石川佳純(28)が7月23日の東京五輪開会式で、選手宣誓をする。過去に国内で開催された五輪3大会では、いずれも男子選手が大役を担ってきた。今大会は「ジェンダー平等の推進」という観点から男女そろってする。各国・地域選手団の旗手も男女各1人が共同で務める。

③大会を重ねるごとに増えてきた女子選手の割合も、史上最多の48.8%になる予定だ。女子選手数も過去最多になる。男女混合種目の数は18で、2016年リオデジャネイロ五輪の2倍に増えた。バレーボールなど五つの団体球技で、女子、男子の順に実施していた決勝の順番を入れ替える。国際オリンピック委員会(IOC)のトーマス・バッハ会長は言う。

「ジェンダーバランスが取れた史上初めての五輪になる」

本当にそうなのか。

■女子競技は品位下げる

④そもそも五輪は女性を排除して始まった。「近代五輪の父」と呼ばれたクーベルタン男爵が「女子競技は五輪の品位を下げる」と反対し、1896年の第1回アテネ大会は男性のみで開催。1900年の第2回パリ大会で門戸が開かれ、2012年ロンドン五輪でやっと女子選手の全競技参加が実現した。

⑤だが、宗教上の理由などでイスラム圏の女子選手の参加はまだ少ない。一方、アーティスティックスイミングと新体操に男子選手は出場できない。

(TURN OVER)

⑥スポーツとジェンダー研究を専門とする城西大学の山口理恵子教授は指摘する。「五輪は『より速く、より高く、より強く』をモットーに掲げ、男性性に価値を置いています。女性参加が増えるのはうれしい半面、そうしたスポーツ文化の下で女性スポーツはこれまで男性のミニチュア版と考えられてきたし、今でもその傾向はある」

⑦実際、アスリートの男女の待遇差は深刻だ。米メディア「Sportico」が5月に発表した今年のスポーツ選手長者番付で、100位内に入った女子選手はテニスの大坂なおみ（15位）とセリーナ・ウィリアムズ（44位）＝米国＝の2人だけだった。大会の賞金総額に差がある場合も少なくなく、サッカーでは男子の18年ワールドカップ（W杯）が4億ドル（約440億円）に上った一方で、女子の19年W杯は3千万ドル（約33億円）にとどまった。その差は10倍以上だ。

⑧こうした問題が生じるのは、スポーツ組織の幹部や指導者に女性が少ないことも大きな要因だ。日本の場合、笹川スポーツ財団の昨年調査によると、各競技団体の女性役員比率は15.5%だった。しかも回答のあった78団体中9団体（11.5%）で女性役員が一人もいなかった。東京五輪・パラリンピック組織委員会も、森喜朗前会長の「女性がたくさん入っている理事会の会議は時間がかかる」発言後にやっと女性理事の割合を40%台に引き上げた。

■子ども扱いの女子選手

⑨報道にも偏りがある。愛知工科大学の小林直美准教授は過去3大会で五輪期間中に夜のニュース番組に登場した選手の国籍と性別を調査した。前回リオ五輪で日本の男子選手が49%、女子選手が40.3%で、外国選手は男女ともに5%前後だった。男女の差はあまりないように見える。だが、五輪期間外の地上波テレビでのスポーツ放送時間の調査（日本スポーツとジェンダー学会編『データでみるスポーツとジェンダー』）では、女子選手はわずか8.7%だった。小林さんはこう分析する。

「国内の五輪報道は日本選手のメダルがフォーカスされる傾向がある。五輪のメダル数は男子選手が5割強、女子選手が4割強なので、女子選手も多く取り上げられます。が、五輪以外では圧倒的な格差があります」

⑩描かれ方にも違いが見られるという。女子選手の場合、家族などプライベートの話題がよく取り上げられる。ニックネームでは男子選手は「王者」「エース」「史上最速」といった選手個人の実績や技量にちなんだものが多い。一方、女子選手は「ちゃん」付けや「〇〇娘」といった子ども扱いが目立った。ニュージーランドの研究者、トニー・ブルース氏の研究でも、報道量などで同様の傾向が指摘されている。

⑪スポーツとジェンダーを考える際に忘れてならないのは性的マイノリティーの選手たちだ。男女二つのカテゴリーに分かれるスポーツの世界では、長らく「見えない存在」とされてきた。だが、今回の東京五輪でトランスジェンダーを公表した選手が初めて出場する。重量挙げ女子87キロ超級のニュージーランド代表ローレル・ハバード（43）だ。男子の国内ジュニア記録保持者だったが、性別の違和感から20代で一度引退。30代で性別適合手術を受け、女子選手として競技復帰した。

⑫IOCのガイドラインでは、男性ホルモンの一種、テストステロン値が一定以下の状態が12カ月以上続けば、トランスジェンダー女性は性別適合手術の有無に関係なく女子種目に参加できる。ハバードは規定をクリアした。それでも「フェアじゃない」「ドーピングみたいなもの」といった批判は強い。

■差別受ける性的少数者

⑬スポーツとジェンダー・セクシュアリティ研究が専門の井谷聡子^{いたにさとこ}・関西大学准教授は言う。

「身体的性別が男性だからといって、全ての男子選手が女子選手より優れた選手とは限らないのに、トランス女性がスポーツで活躍すると差別的言動にさらされる現実がある」

⑭スポーツ現場では同性愛嫌悪も根強いという。

⑮男らしさに価値を置いたスポーツ文化を変えようと動き出したのが、今年9月開幕の日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」だ。競技レベル向上だけでなく、性別にとらわれずに一人ひとりが輝く社会の実現を理念に掲げる。同リーグ理念推進部の小林美由紀^{こばやしみゆき}部長は言う。

(TURN OVER)

「女性アスリートはパフォーマンスより外見やプライベートを取り沙汰され、性的な視線などを向けられることもある。こうした風潮を変えて、自分らしく夢を追いかけられるよう、サッカーを通じてエンパワーメント（力づけ）したい」

（編集部 深澤友紀）

Source: AERA, 26 July 2021

< 語彙 >

選手宣誓 the athletes' oath for fair play
長者番付 a rich list
重量挙げ weightlifting

< 問題 >

- (a) 上の文章の① - ⑫を日本語で要約しなさい。[25 marks]
- (b) ⑬について、トランス男性のスポーツ選手も同じ経験をするとするか。
あなたの意見と理由を述べなさい。[3 marks]
- (c) ⑭について、その理由は何だと思いか、あなたの考えを述べなさい。
[3 marks]
- (d) ⑮について、あなたが「WE リーグ」の理念推進部長だったとしたら、「一人ひとりが輝く社会の実現」のために具体的にどんなことをするか述べなさい。[4 marks]

3. Write an essay in **Japanese** on the following topic (*kanji* and *kana*):

[35 marks]

Define **多文化共生社会** and discuss how one might achieve it in Japan.

END OF PAPER